

地方創生加速化交付金事業【平成28年度実施事業】
達成状況評価

平成29年10月

(総合評価)

C
地方創生に効果があった

(総合評価、事業評価凡例)

- A 地方創生に非常に効果的であった(全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られた)
- B 地方創生に相当程度効果があった(一部のKPIが目標値に達しなかったが、概ね成果が得られた)
- C 地方創生に効果があった(KPI達成状況は芳しくなかったが、事業開始前よりも取組が前進・改善した)
- D 地方創生に効果がなかった(KPI達成状況は芳しくなく、事業開始前よりも取組が前進・改善したとは言い難い)

(達成状況評価)

	◎	○	△	×
	20.0%	20.0%	0.0%	60.0%
KPI数	2	2	0	6

(達成状況評価凡例)

- ◎ 目標達成(判断基準:目標値の10割以上)
 - 目標を概ね達成(判断基準:目標値の7割以上10割未満)
 - △ 目標をある程度達成(判断基準:目標値の3割以上7割未満)
 - × 目標をほとんど達成できなかった(判断基準:目標値の3割未満)
- ※「0~4歳人口」の達成状況評価は、単年度毎の目標値(=目標値-事業開始前)÷4)に対する達成状況を評価した。

注: 本評価の総合評価・事業評価は①平成28年度終了時点での目標値を設定したものについては年度終了時の達成状況を、②数年後に目標値を設定したものについては事業開始前の数値から勘案した進捗状況を評価した。

(達成状況内容) 総事業費:64,970千円(交付金交付確定額:64,000千円)

事業名/事業内容	事業評価	達成状況評価	重要業績評価指標(KPI)			取組結果/事業評価のポイント	事業費(千円)	
			指標名	事業開始前【H28.4時点】	目標値			実績
【ひと】みんなで子育てするまち推進事業								
<p>(内容) ○市の合計特殊出生率は1.82であるが、市内の子育て世代は2.55人の子どもをもつことを希望しており(H26)、現実との乖離があることから子育てしやすいまちづくりを推進する必要がある。 ○そこで、「ママ・パパ」「おじいちゃん・おばあちゃん」「地域」「企業」など、子育て世代を取り巻くあらゆる立場の方々がお互いの立場を理解し、子育てに対する意識を共有する事で、地域全体で子育てを尊重する風土づくりを目指し、子どもを産み育てやすい環境づくりを進める。 ※合計特殊出生率が共に県内トップの長泉町との共同事業。</p>	B	◎	①イベント参加者数	0人	【H28】480人	2,141人	<p>○ファミリーキャンパス:ママ・パパ、おじいちゃん・おばあちゃん、子どものそれぞれが楽しめ、問題意識も共有する全員参加型セミナーを3回開催。 ○イクボスセミナー:子育てや介護を抱える社員に理解を示す上司=イクボスを増やすため、啓発セミナーを計4回開催。 ○子育て世代リーダー等から、ワークショップ形式で地域の子育ての現状等について意見を聴き、課題を抽出するセッションを計1回開催。 ○英語DEリトミック、ランチ会:子育て世代のコミュニティやネットワーク形成の場を創出するイベントを計11回開催。 ○既存イベント出展:子育て関係の既存イベントとタイアップし、多くの人に当事業の趣旨を周知した。ママチャレ、長泉町子育てフェスティバルに出展。 ○第2回みんなで子育てするまちシンポジウム:子育て世代、地域、企業といった分野を超えてみんなで子育てする意識を共有するシンポジウムを計1回開催。</p> <p><事業評価のポイント> 指標①②は、目標値を大幅に達成した。指標③④は、単年度毎に換算した目標値に対する評価は「×」であるが、すぐには成果が出ないものでもある。本事業は地域に住むすべての人が子育てに対して理解を持ってもらうための啓発事業である。イベント参加者の子育てに対する理解が進んだ割合が高値を示したことからも本事業は【地方創生に効果があった】と評価できる。</p>	9,092※ (9,000) ※裾野市負担分: 5,292
		◎	②イベントに参加して理解が進んだ参加者の割合	0%	【H28】80%	97%		
		×	③0~4歳人口	2,564人	【H31】2,840人	2,487人		
		×	④女性団体などの起業数	0件	【H28~31】5件	0件		
【しごと】裾野市発屋上緑化技術のビジネスモデル確立事業								
<p>(内容) 屋上緑化推進事業における、付加価値ある独自の屋上緑化技術の研究開発の加速化に向け、大手種苗メーカーと連携した研究開発を行う。また、生産から供給販売までのビジネスモデルを確立し、競争力のある地域産業を創出する。</p>	C	×	①屋上緑化産業による売り上げ	0億円	【H28~31】10億円 【H31】5億円/年	0億円	<p>【独自緑化技術の研究開発事業】 苗木生産を手掛ける認定農業者・造園事業者6名による裾野市環境緑花事業協同組合が実施した、①種苗育成管理、②付加価値を高めるための新技術の研究開発(種苗購入、植付け、培土等資材購入)、③種苗メーカーと連携した成長用肥料対比実験・土壌配合実験、風洞実験、土質内温度実験等の調査研究、④販路拡大に向けた展示会への出展、⑤実証ほ場整備を支援。</p> <p><事業評価のポイント> 指標②は、単年度毎に換算した目標値を達成した。指標①③は、単年度毎に換算した目標値に対する評価は「×」であるが、すぐには成果が出ないものでもある。なお、独自の緑化技術の研究開発は着実に推進され、販路の拡大にも努めたことから本事業は【地方創生に効果があった】と評価できる。</p>	25,013 (25,000)
		○	②遊休地の再利用面積	0ha	【H28~31】2ha 【H31】0.4ha/年	0.4ha		
		×	③新規就農者数・就業者数	0人	【H28~31】50人 【H31】10人/年	0人		
【しごと】産業連携地域プラットフォーム構築事業								
<p>(内容) 大手企業と中小企業や農業者の連携のためのプラットフォームを構築し、事業者間の情報交換・ビジネスマッチング、勉強会、経営相談、空き店舗対策など地域産業活性化のための連携協力体制を構築する。</p>	C	○	①産業連携地域プラットフォーム会員による新事業数	0事業	【H28~30】10事業 【H28~32】20事業	3事業	<p>【産業連携地域プラットフォーム拠点整備】 オープンに対話する場の創出のため、空き店舗を改修し、産業に係る事業者が集える場所を構築。</p> <p>【産業連携地域プラットフォーム事業運営】 産業連携地域プラットフォーム立ち上げ・産業創生協議会立ち上げ(平成28年10月、12月、2月、3月開催)・勉強会など(まるかつて塾(7回)、裾野未来勉強会(3回))の提供。</p> <p>【中小企業相談支援事業】 中小企業・個人事業者に対する相談会や企業の経営改善に関する研修会といったビジネスコンサルティングサービスを提供。</p> <p><事業評価のポイント> KPIの達成状況は芳しくなかったものの、拠点施設の整備が完了し、今後一層の事業の推進が見込まれることから、本事業は【地方創生に効果があった】と評価できる。</p>	30,865 (30,000)
		×	②産業連携地域プラットフォーム会員の新事業による売り上げ金額	0千円	【H28~30】50,000千円 【H28~32】100,000千円	0千円		
		×	③産業連携地域プラットフォーム会員の新事業による雇用者数	0人	【H28~30】30人 【H28~32】50人	0人		

※事業費の括弧内は交付金交付確定額を示す